



# これからもハイデルベルク市とともに

# Kumamoto

ハイデルベルク市と本市は、1992年に友好都市の盟約を結び、このたび、交流30周年を迎えました。これまで、環境や医療、青少年教育等のさまざまな分野において、自治体はもとより市民・民間レベルでの交流を促進するとともに、まちづくりに関する交流や共通の都市課題の解決に向けた相互の学び合いを進めるなど、30年の歩みの中で両市における友好の絆を深めてまいりました。

ご承知のとおり、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような交流がかなわない時期も経験いたしました。このたび5年ぶりにハイデルベルク市より代表団をお迎えし、「フェアトレードシティとして実践するSDGs」をテーマに記念シンポジウムを開催できますことを大変うれしく思います。

本市は、2011年にアジア初のフェアトレードシティとして認定され、現在、フェアトレードの啓発に取り組んでいるところであり、このシンポジウムの開催を通して、ハイデルベルク市における先進的な事例等を学ぶことで、さらなる国際貢献につなげてまいりたいと考えております。

今後とも友好都市締結30周年を迎えたハイデルベルク市の皆さまとともに、SDGsならびにフェアトレードの取り組みを進め、誰もが幸せに暮らすことができる持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

熊本市長  
大西 一史



## これまでの交流の様子



市議会議場で「ハイデルベルクスマートシティ2040」をテーマに講演するヴェルツナー市長(2018年2月)



両市の青少年交流(2013年8月)

## ハイデルベルク市から届いたお祝いメッセージ

熊本市とハイデルベルク市の固く結ばれたパートナーシップと友情は、30年来の協力関係のもと、育まれてきました。医療、青少年教育、文化などさまざまな分野において、積極的な交流や、相互訪問を数多く行ってきました。

コロナ禍においても、オンライン交流によって、両市の友好関係を継続し、絆を深めることができました。ハイデルベルク市では、友好都市締結30周年を記念して、友好の証となる30本の桜を植樹しました。また、両市をつなぐ重要な政策として、世界的な課題である「フェアトレード」があります。ハイデルベルク市は2010年にフェアトレードシティに認定され、熊本市は2011年にアジア初のフェアトレードシティとなりました。両市は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」

の実施において重要な役割を果たしており、世界の約2,000のフェアトレードシティとともに、一貫してこの道を歩み続けるべきと考えています。ハイデルベルク市の具体的な取り組みとしては、市の購入ガイド「bio.regional.fair」が挙げられます。オーガニックスーパーやフェアトレード専門ショップなど、ハイデルベルク市における持続可能な消費についての情報を提供するものです。

以上のことを念頭に置きながら、私たちは一緒に創り上げたい未来について、希望を持って前向きに取り組む、ともに多くのプロジェクトを立ち上げることができると確信しています。



ハイデルベルク市長  
エッカート・  
ヴェルツナー氏



# Heidelberg

熊本市とハイデルベルク市は同時期に  
フェアトレードシティに認定されました。



「フェアトレード」とは貧困のない公正な社会をつくるための「公平で対等な貿易」です。

**日独シンポジウム開催** ■日時: 2月11日(祝) 午後1時~3時(予定)  
■場所: 熊本城ホール 2階シビックホール

ドイツ総領事やハイデルベルク市からの訪問団をお迎えし、「フェアトレードシティとして実践するSDGs」をテーマに講演や意見交換を行います。

<基調講演> 講演者: 熊本市長、ハイデルベルク市長

<パネル討議> パネリスト: 熊本市長、ハイデルベルク市長

コーディネーター: 法政大学 デザイン工学部 デザイン建築学科 教授 川久保 俊 氏

<申込方法> メール kokusai@city.kumamoto.lg.jp または 電話 096-328-2070(国際課)



詳しくは  
こちらから

